

## 長工新道ハイキング

E36 勝沼 正敬

すでに川村さんのメールをご覧になられた方はご承知の通り、地元同窓会の「長工OB山の会」主催による、来年の長工創立110周年記念イベントとリハーサルを兼ねた「長工新道ハイキング」に参加してきました。

E36からは、九州熊本から廣井君、関東地区から川村・櫻井・阪西の三君と勝沼、新潟から新井君の6名が参加しました。

先輩・後輩合わせて25名のエントリーがあり、懇親会だけ参加の方・心を残しつつやむを得ない事情でキャンセルされた方を除く20名余が、時折パラつく雨の中を大入峠登山口から鋸山に向かって登りました。



山頂あたりが一番雨脚が強くなり、雨具を着る人もいましたがその後は雨具の必要もない程度になり、花立峠で昼食を食べる頃には雨はあがり、前同窓会長室賀さん差し入れのワンカップ「景虎」を美味しくいただいたのでした。



花立峠からの長工新道は、雨上がりの澄んだ空気

のせいが高いところに雲は多く残っているものの、長岡の市街地、弥彦山、佐渡島まで良く見えました。

信濃川にかかる長生橋も市役所の建物も視認できたのですが、我々の母校は双眼鏡を持ってこなかったので残念ながら確認できませんでした。

そこから左、南西の方角に目を転ずると米山もあの特徴ある山容をすっきりと見せてくれていました。



長工新道は、地図を見るとほぼ南北に通じています。長岡市街は西側の景観で、東側の景観が開ける場所では、粟が岳、守門岳、浅草岳、未丈ヶ岳、駒ヶ岳、中ノ岳、八海山、巻機山などが指呼の間という感じで臨まれ、素晴らしい景色を堪能しました。



萱峠からは、牧場跡地まで車が来てくれて、全員のザックを運んでもらい、約1時間の車道を心も体も軽く、山ぶどうの実を味わったりしながら宿のあまやち会館(尼谷池)まで歩いて、15時30分に到着しました。



長工新道は、昭和 32 年に山岳部員と山岳部OBが中心になり開かれた道だということで、それから半世紀、草刈りなどの整備が延々と続けられ、今も歩きやすい立派な道が長工新道の名前で残っているのは、誇らしく思えたものです。

その夜は、参加者の皆さんとの懇親会でした。酒は豊富、先輩方の話題も豊富、応援歌や校歌も合唱して大いに盛り上がったことは、皆さんの想像に難くないことでしょう。

我々同級生も、翌日の八海山行きを中止にした安心感から、大いに飲みかつ話したのです。

翌朝、かなり飲んだはずなのに二日酔いにもならず、山古志の復興状態を宿のマイクロバスで案内してもらい、長岡駅で解散となり無事全行程を終えました。

が、そこで終わらないのが我がE36の長所というべきか欠点というべきか、川村さんの出発前日のメールを目ざとく見つけてくれた高山さんが、ハイキングを終えて長岡駅に到着する我々を待ち受けてくれており、昼食の蕎麦、その後の酒につき合ってくれて、たっぷり飲んだのでした。



高山さんのメールの添付写真で3時間余の歓談の後の顔を見ていただいたと思いますが、さすがに歩き疲れではなく、飲み疲れしゃべり疲れでその夜は9時半に就寝しました。



新井さんの隣の人は、同窓会東京支部の支部長でありLMCという東京支部の山の会の会長で通常は隊長と呼ぶE29の樋口さん、樋口さんの隣は樋口さんの同級生の富沢さん、川村さんと廣井さんの間の一とは同じく樋口さんの同級生の小金井さんという先輩です。

来年のE36同級会に向けて、関東地区幹事の川村さんからメールの発信が頻繁にされています。どのような内容でも、どんなに短い文でも、どうぞ返信してください。我々関東地区の幹事団もその言葉を励みにして、いっそう努力いたします。そして、大勢の仲間の参加で古希の会を盛り上げたいものと思っています。(完)